

年男・年女

新年の抱負

寅



平成22年は寅年。寅年生まれの年男・年女の皆さんから、ことしの抱負を語っていただきました。「騎虎の勢い」で1年間勢いよく過ごせるでしょうか。厳しい経済状況、「虎口を脱する」ことができるでしょうか。どんな一年になるでしょう。



恩義を忘れずに

村上 崇さん（妙見町）
昭和49年生まれ



笑顔を大切に

斎藤美里さん（十二林1区）
昭和61年生まれ



サッカーの思い出と これからの目標

伊藤 大さん（田抓）
平成10年生まれ

明けましておめでとうございます。

ぼくは、小さいころからサッカーが大好きで、1年生から二力ホWin-s FCに入り頑張っています。みんな元気でとても楽しいチームです。

今までサッカーをやってきて、一番うれしかったのは、昨年、魁星旗大会で2002が3位になり、メダルをもらつたことです。それと、トレセンで他のチームの友だちがたくさんできました。

ことしは6年生になります。これからまた、大会がたくさんありますが、いいプレイができるように練習をして、チームみんなで力を合わせ、優勝めざして頑張りたいと思います。



6度目の寅年を迎えて思う

細田武子さん（岡の谷地1区）
昭和13年生まれ

明けましておめでとうございます。

6度目の寅年を迎え頗みれば、走馬灯のように甦ります。

戦時中、千人針が回ってくると、我が家は母と兄と私が寅年で年の数だけ結ばれたので、大変喜ばれたのを記憶しています。意味も分からぬまま寅年生まれで「良かったな」と思ったものです。それが起因しているのか、現在も「千里行って千里帰る」の轡のように勢いが盛んな虎が大好きです。

嫁として、妻として、母として、姑として、祖母として、そして女性として、すべて経験して、たくさんの人と会って貧しい、辛い、悔しい、悲しい、苦しい、寂しい、すべてのことが穏やかに懐かしい思い出となって浮んできます。「虎は死して皮を留め人は死して名を残す」のごとく、今後の人生は一日一日を重んじて過ごして生きたいと思っています。



これまで、そしてこれから

木村 裕さん（33区）
昭和37年生まれ

明けましておめでとうございます。

ことで4回目の寅年を迎えるました。初めての寅年は小学6年生の時、友だちと遊ぶために、元気に小学校に通っていました。2回目は大学6年生の時、実習や試験が多くそれなりにまじめに勉強をしていました。3回目は大曲の病院に勤務している時、朝から夜まで院内を走り回っていました。この翌年に象潟に戻り、父の後を継いで現在に至っています。

さまざまなことで悩んでいる時や困っている時には、周囲の人に励まされ、教えられここまできたように思います。「あまり背伸びをせず、できるこことを確実に」と思いこれまでましたが、これからも少しでも成長できるように努力していこうと思います。



感謝！！

遠藤あや子さん（芹田）
昭和25年生まれ

あけましておめでとうございます。

もう5度目の寅年を迎え、自分でもびっくりしています。還暦を迎える振り返ってみれば、いろいろな事がありました。その度にたくさんの方々から支えられて今があります。本当に感謝しています。

ことしの目標としては、NHKで始まった「坂の上の雲」の秋山好古のように茶碗一つの精神でいつでも飛び立てるようにすることです。遠藤家の次の代への準備の年にしたいと思っています。昨年秋から雄寅の私は、腰を痛め、隣に寝ている雄寅から医者に連れて行つてもらっている状態です。健康に不安はあります。急がずゆっくりと笑顔の多い年にしたいと思います。

